

議会だより

あさかわ

No. 144

令和8年
6月定例会

福島県浅川町議会



夏がきた！！プールだ！！

あさかわこども園
年長児のプール遊び
(町民プールにて)

条例の制定・改正	2
一般会計補正予算	3
国保税決まる	4～5
人事案件	6
8人の議員が一般質問	7～15
議会活動	16～17
あの提言はどうなってるの	18
町民の声	20



こども誰でも通園制度

乳児等通園支援事業条例可決

令和8年6月定例会は6月9日から12日まで会期4日間の日程で開催されました。

江田町長が提出した特定乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の運営に関する基準を定める条例の制定など23議案と、議員提出の請願1件は原案の通り可決しました。

こども園に通園していない 生後6ヶ月～3歳児未満が対象

【質疑】

問 対象となる子どもの数と4月1日からの利用者はいるのか。

答 対象となる数は7名で利用者は現在のところいない。

問 他市町村の子どもを受け入れた場合に協定を結ぶのか。

答 協定を結ぶのではなく希望する各市町村に申し込んで事前打ち合わせをして利用する

ことになる。

問 利用時間が午前中となつていますが、午後も利用できるのか。

答 子どもに保育を慣れさせる意味もあるもので午後も利用となると、一時預かり保育の利用となるが保護者と相談していききたい。

問 浅川町に住所のある子どもは無料となつていますが、利用料は町が負担するのか。

答 国と県からの補助金と町からの補助金で補填される。

【採決】

全会一致で可決しました。

吉田富三記念館入館料の改正

【質疑】

問 入館料を400円から500円にするのはどのように決定されたのか。

答 顕彰会の理事、評議員で協議して決めた。

問 令和7年度の入館者数と料金収入、今回の改正でいくら増収になるのか。

答 入館者数は430人、入館料は約23万円、5～6万円の増収見込みである。

問 名誉町民小川智士氏の胸像除幕式の際に小川氏から、記念館は浅川町の宝物である「人間吉田富三」を理解してもらえよう研究してほしいとのあいさつがあつたが、対応は。

答 大きな志を抱く人思いやりのある人を浅川町から育てたい。子どもたちの将来のためにアイデアを出しながら

ら先頭になって頑張っていく。

問 記念館の展示内容が開館以来変わつていない。変更や整理が必要ではないか。

答 顕彰会の理事、評議員の意見を聞いて前向きに進めたい。

問 吉田富三博士をNHKの朝ドラに出そうという動きがあつたが今はどうなったのか。

答 3、4年前NHKに申し込んだ経過はある。日本全国から申し込みあるようだ。今後交渉していきたい。

問 記念館や貫秀寺に外国人へのガイドブックがないので対応すべきではないか。

答 今のところ考えていないが理事、評議員と協議したい。

【採決】

全会一致で可決しました。

敬老年金支給基準改正

問 基準日が9月15日から9月1日に改正されると振り込みはいつごろになるのか。

答 口座の確認などの手続きをしてから、9月15日の敬老の日までには振り込みを実施したい。

【採決】

全会一致で可決しました。

行政手続条例改正

問 デジタル化によって役場前にある文書揭示場を廃止するのか。

答 揭示場は町内に1箇所しかないので廃止はしない。

問 通知内容を役場窓口にあるモニターテレビでも表示するのか。

答 技術的なこともあり考えていない。

【採決】

全会一致で可決しました。

浅川小学校移転の 基本構想・計画策定へ

■主な補正の項目

(単位:万円、千円単位切り捨て)

歳入

項 目	補正額
特別交付税	50
農林業費補助金	100
財政調整基金繰入金	1000

歳出

項 目	補正額
駅前駐車場と道路整備工事費	107
多面的機能支払交付金	100
消防車輛準中型免許取得補助金	100
浅小基本構想・計画策定事務委託	1100

浅小移転新築計画スタート

令和8年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ1150万円を追加し、総額を4億4350万円とするもの。

【質疑】

問 ①浅小を新築しなければならぬ理由は。

②財政的な見通し、財政専門家の裏づけは。

③浅小を浅中の隣に移転するのに伴い、児童や保護者、地域住民への方に対して説明はいつ頃するのか。

答 ①将来、小・中学校は各学年1クラスの

予測。北校舎・体育館は旧耐震基準。同一敷地による安全性、教育上のメリットに鑑み判断した。

②国の経営アドバイザーより意見をいただいた。

③実施計画の中で、丁寧に説明し進めたい。

【採決】

全会一致で可決しました。

決分 専処

令和7年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ112万円を追加するもの。

荒町第2団地外壁屋根改修設計業務委託 300万円

【質疑】

問 設計の工期と工事の発注時期の見通しは。

答 設計委託期間は10月まで、納品次第で工事発注時期も早まる。

なお、荒町団地は今年度、当初予算で改修工事を予定。荒町第2団地は、国の追加交付により設計委託を実施する。

【採決】

全会一致で可決しました。

請願

国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出を求める請願書

請願者
福島県教職員組合中央執行委員長
酒井和紀
紹介議員 須藤浩二

【内容】

東日本大震災で被災し、経済的理由により就学等が困難な子について、学用品等の援助や通学支援、高校生への奨学金支援、特別支援学校等に在籍する児童生徒への就学奨励、各種学校の授業料減免などが実施されているが、本県では令和8年2月1日時点で1万8996人が県内外で避難生活を送っている。経済的な支援を必要とする子どもたちは多く、学校現場からも事業の

【採決】

全会一致で採択しました。



増税に

1世帯平均

+3508円

1人平均

+4190円

「分」が上乗せされて

国保条例の改正

今年度の国保税を決定する国保条例改正は、基金から650万円を取り崩して負担軽減に取組んだものの、新たに子ども子育て支援

【質疑】

子育て分の負担は増えていくのか

問 国は急に国保税が上らないよう子ども子育て分は今年度は6割、来年度は8割、再来年度に10割を徴収する。従って子ども分は

答 おそらくそのような形になるのではないかと思います。

【討論】

― 反対討論 ―

上野議員 子ども子育ての費用を医療保険に上乗せ徴収すること自体不当である。しかも低所得者が多い国保では、所得が出た人の負担は他の医療保険の何倍にもなるケースがあると政府も認めており、

まったく不公平である。子ども子育ての財源確保は、富裕層への適正な課税や大軍拡の中止で行うべきで、地方議会は住民の利益を守るため、国からの不当な負担増をきっぱり拒否すべきだ。よって反対する。

― 国保税本算定年度別対比表 ―

区 分		令和7年度	令和8年度	前年対比
医 療 分	1世帯当たり現年度課税額	71,539円	70,477円	▲ 1,062円
	1人当たり現年度課税額	48,844円	48,992円	148円
後期高齢者 支 援 金 分	1世帯当たり現年度課税額	30,189円	29,860円	▲ 329円
	1人当たり現年度課税額	20,611円	20,757円	146円
介 護 分	1世帯当たり現年度課税額	28,823円	28,257円	▲ 566円
	1人当たり現年度課税額	25,150円	25,247円	97円
子 ど も 分	1世帯当たり現年度課税額	—	5,465円	—
	1人当たり現年度課税額	—	3,799円	—
合 計	1世帯当たり現年度課税額	130,551円	134,059円	3,508円
	1人当たり現年度課税額	94,605円	98,795円	4,190円

今年度の国保税は

— 新たに「子ども子育て

— 賛成討論 —

富永議員

子ども分の
上乗せ、子育て世代の
負担軽減策とそれを支
えるため国保基金60
0万円を取り崩して大
幅な増税とならないよ
うにする判断を評価す
る。子育て支援は一刻
の猶予も許されない。

600万円を投入し、
子ども分の負担軽減に
上乗せを図ることは、
子育て世帯を町全体で
支える国保の持つ相互
扶助の精神である。本
案は町民福祉の向上と
次世代への投資を両立
させる最善の改正であ
り賛成する。

【採決】

賛成多数で可決しました。

国保特別会計補正予算

【討論】

— 反対討論 —

上野議員

条例改正に
反対したので本案にも
当然反対する。子育て
分の上乗せは国保の相
い。

互助とは何の関係も
なく、国保税をさらに
重くすることが福祉の
向上になるとも思わな
い。

【採決】

賛成多数で可決しました。

■ 6月定例会採決一覧

25議案中23議案は全会一致で可決しました

○賛成

×反対

議長は採決に加わらない

議案名	須藤孝夫	富永勉	菅野朝興	兼子長一	木田治喜	岡部宗寿	須藤浩二	上野信直	会田哲男	水野秀一	議決結果 (賛成：反対)
国保税条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	可決（8：1）
国保特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	可決（8：1）



固定資産評 価審査委員

2

浅川町大字東大畑字
金田

氏名

白川 清一

生年月日

昭和29年11月

【採決】

全会一致で同意しま
した。



新農業委員

― 全会一致で同意 ―

住所

浅川町大字浅川字本

町

氏名

郷田 芳博

生年月日

昭和33年7月



住所

浅川町大字福貴作字

宮ノ前

氏名

生田目 克巳

生年月日

昭和42年9月



住所

浅川町大字松野入字

内畑

氏名

矢吹 義隆

生年月日

昭和34年7月



住所

浅川町大字山白石字

破石

氏名

生田目 好嗣

生年月日

昭和36年1月



住所

浅川町大字袖山字中

ノ町

氏名

小針 久勝

生年月日

昭和33年1月



住所

浅川町大字畑田字八

ツ掘田

氏名

小室 一男

生年月日

昭和39年9月



住所

浅川町大字大草字平

田

氏名

須藤 孝夫

生年月日

昭和32年9月



住所

浅川町大字里白石字

宿裏

氏名

菊池 三重子

生年月日

昭和37年3月



住所

浅川町大字太田輪字

虚空蔵前

氏名

藤田 保幸

生年月日

昭和32年2月



住所

浅川町大字浅川字背

戸谷地

氏名

緑川 孝雄

生年月日

昭和32年10月



8人の議員が質問

(通告順)

1 富 永 勉 議員

- (1) 最適化計画の実現と健全財政の運営について
- (2) 「優味」ブランドの横断的展開について

2 菅 野 朝 興 議員

- (1) 公共施設更新には、町事業の見直しが必要では
- (2) 里白石駅前に仮設トイレの設置を

3 須 藤 浩 二 議員

- (1) 外国人による土地取得及び賃借について
- (2) 早急な防犯カメラの設置を

4 岡 部 宗 寿 議員

- (1) 我が町職員の安全運転（管理者）について

5 須 藤 孝 夫 議員

- (1) 浅川の花火大会について
- (2) 農業者への支援について

6 木 田 治 喜 議員

- (1) 「ギガスクール構想第2期」について
- (2) 町事業のEBPM（エビデンス・ベスト・ポリシー・メイキング）手法による評価の重要性について

7 兼 子 長 一 議員

- (1) 新教育長の教育行政方針について
- (2) 外国人住民登録数と就労支援や課題について

8 上 野 信 直 議員

- (1) 米・イの国際法違反のイラン攻撃に起因する物価高騰、資材不足に苦しむ町民に支援を
- (2) 猛暑から子どもの健康を守るため学校に冷水器、給水器、ミストの設置を
- (3) 町等が設置している防犯カメラへの防犯カメラ条例の適用状況は
- (4) お盆の時期にみのわ団地の空室を宿泊施設にできないか
- (5) 一色のクランクが厳しい県道社田浅川線のバイパス計画は
- (6) 雨が降ると水たまりになる浅中新校舎昇降口前の原因と対策は

町政を問う

一般質問は6月10日に行われ、
通告した8議員が町長等の考え
を質しました。なお、一般質問
の傍聴者は3名の方々でした。

※一般質問とは
定例議会において、各議
員が住民の代表として行政
全般にわたり町当局の考え
や疑問をたずねることです。
また議員にとって政策の
見直しや政策を提言する重
要な活動の場です。

最適化計画の実現へ向けた 行財政改革を

健全財政へ事業全般の見直しを検討



とみなが 富永 つとむ 議員

問 町が抱える「施設の老朽化」と「人口減少による税収減」という二重の課題に対し見解を伺う。

将来の財政数値の推移をどう分析し、最適化計画の実現にどう反映させるのか。

町長 最も財政負担が少ない校舎再利用案で、複合施設にすることで財政負担のメリットを確認できた。補助金や有利な起債を活用し、教育も担保しながら小学校移転新築から最善の方法で実施する。

問 前例踏襲の事務事業をゼロベースで見直す考えは。

町長 持続可能な財政運営のため、事務事業全般の見直しが必要と認識する。ゼロベースで必要性・有効性の低い事業の見直しを検討したい。

問 攻めの歳入確保として、新たな財源確保に向けた取り組みは。

また、財政調整基金の適正規模をどう考え、不測の事態と計画事業をどう両立させるか。

町長 ふるさと納税の強化として、魅力ある返礼品を揃え進めていく。売却可能資産の選定を行い、土地は売却を検討していきたい。

財政調整基金は、税収の減少や災害発生時などの不測の事態に備えるため、一定水準の残高確保が必要。大型事業の実施時期を踏まえ、必要水準を確保していく。



優味ブランドの横断的展開を

浅川ブランド化を定着させたい

問 「優味米」の漢方資材米で培った品質イメージを町全体の農業・加工品にも広げるべきと考え見解を伺う。

米以外の他産品へも「優味」の名称を冠して、町の総合ブランドとして育成し、特産品開発や地域活性化に繋げる考えは。

町長 「優味米」として商標登録している花火の里漢方資材栽培生産部会の取組みや意見を聞き進めたい。

走支援していくのか。

町長 開発に向け、連携や支援体制を前向きに検討したい。

問 町独自の認定制度を設ける考えや統一したデザインを使い販売戦略を構築する考えは。

町長 他産品へのブランド化への機運が高まる過程で検討する。

問 優味ブランドの横断的展開による地域活性化への期待は。

町長 浅川ブランド化が定着していけば最高だ。そのために、生産者、町、町民が一体でなければならない。

問 特産品開発、6次化商品開発の目的を共有する地域おこし協力隊とどう連携を図り伴

公共施設更新には、町事業の見直しが必要では



かんの ともおき
菅野朝興議員

慎重に検討したい

問 現在、浅川町の公共施設は老朽化しており、更新が必要な時期にある。特に役場庁舎、小学校、公民館などは、迅速な更新対応が求られている。だが、浅川町の財政状況は潤沢な予算があるわけではない。財政面を考慮しながら更新をしていかなければならない。より効率的な財政運営には、定期的な事業の点検、事業仕分けなどが必要になるかと思う。以前質問にも上っていたが、四季花火、ロードレース大会、その他、敬老祝い金など、定期的な見直しをする事で予算の適正化、スリム化が

できるのではないかな。

町長 ゼロベースの観点に立ち、必要性・有効性の低い事業については、見直しの対象として慎重に検討していきたい。



里白石駅前に仮設トイレの設置を

地元行政区との協議等を含め検討したい

問 現在、里白石駅前にはトイレがない。自家用車のない人は、遠方より水郡線を利用する人たちもいる。通勤、通学、病院通いの人などもいるかと思う。近隣にトイレを借りられる場所もないので、里白石駅前に仮設のトイレがあれば、安心して駅を利用できると思うが、町でトイレの設置を検討できないか。

町長 里白石駅前の公共トイレについては、維持管理の問題や老朽化等により、平成27年

1月に地元行政区の要請があり、取り壊した経過がある。仮設トイレの新設については、日頃の維持管理が必要不可欠であるため、地元行政区との協議等も含め、慎重に検討していきたい。



太陽光や産廃等の施設を 条例で規制できないか

国・県が判断することになっている



すとう こうじ
須藤浩二議員

問 他市町村では外国人による土地の取得や賃借により太陽光発電や資源物、産廃等の集積地で、近隣住民や自治体とトラブルが発生している。現時点では浅川町にそのような施設は見受けられないが、発生は時間の問題かと思う。今後そのような施設ができる前に町条例を作り備えるべきと考え、以下質問する。

①現在浅川町に前記のような施設を建設するときは、どのような申請が必要なのか。

②国や県に対しての申請は必要なのか。

③建設・設置を認めないとすることはできる

のか。

町長 ①②太陽光発電事業は経済産業省へ事業計画認定の申請が必要となる。資源物の屋外保管の設置については、福島県条例に基づき県に設置許可申請が必要となる。産業廃棄物の処理施設の設置及び収集運搬保管については、法律に基づき県に許可申請が必要になる。

③それぞれ国の認定、県の許可となっており、国及び県で判断するものである。

問 町内に防犯カメラの設置を行う計画になっているが、まだ設置に至っていないことから、以下質問する。

①現在どのような状況なのか。

②何カ所に設置するのか。

③いつまでに設置するのか。

町長 ①②令和8年3月に町防犯協会の予算でカメラ3台を購入している。3月定例会で申し上げた通り、浅川駅前前の駐輪場、駐車場等にこの3台を設置し

防犯カメラ設置の計画はどう なっているか

浅川駅前3台を6月中旬に設置 したい

たいと考えている。

③6月中には設置を完了したいと考えている。



駅前に設置された防犯カメラ

花火大会を今後も持続可能にするためには



すとう たかお
須藤孝夫議員

町が一丸となって支援していく

問

須賀川の釈迦堂川花火大会は、資材や人件費の高騰により今年の開催は休止との報道があった。我が町の歴史と伝統ある花火大会を今後も続けるために、必要な対策について伺う。

① 浅川の花火大会も資材や人件費の高騰により、大会の運営費が増えていると思うが、町からの花火大会への財政支援は。
② 今後も花火大会を10年20年と続けるために、継続して開催できる対応は。
③ 多くの企業や町民等の供養花火として打ち上げられているが、負担

担になっているとの声もあるが認識は。

町長

① 経費が高騰しており、令和8年度の花火に関する予算は1392万円となる
② 浅川の花火大会は300有余年の歴史を誇る伝統ある花火で、様々な関係団体が主催者である青年会に協力し花火大会を開催している。今後も町が一丸となって青年会を支援していく。
③ 花火の価格は高騰していることから負担は増えていると認識しているが、企業協賛や供養花火は、契約される方がご負担のない範囲で青年会と協議していただければと思う。

認定農業者以外の農業者への支援は

持続可能な農業の推進のため、認定農業者に支援していく

問

浅川町は、認定農業者等への支援事業はあるが、認定農業者以外の農業者への支援事業はない。棚倉町では、認定農業者以外の農業者への支援事業を今年度より始めた。圧倒的に多い認定農業者以外の農業者への支援事業はできないか伺う。
① 認定農業者以外の農業者件数、また、それぞれの耕作面積は。
② 認定農業者以外の農業者へ担い手支援事業として、農業機械購入や農業施設等の整備にかかる費用などの助成はできないか伺う。

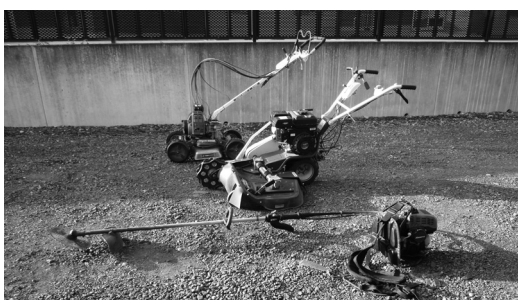
町長

① 浅川町の認定農業者は44経営体、認定農業者以外の農業者は232人となっている。耕作面積は認定農業者206ヘクタール、認定農業者以外の耕作面積は586ヘクタールとなっている。
② 認定農業者は、「農業計画改善計画」に基づき農業の持続的発展を牽引する重要な存在となっている。地域には認定農業者に準ずる担い手が多く存在することから、地域計画の座談会などを通して認定農業の確保に努め、持続可能な農業の推進

のため、認定農業者に支援していく。

農政課長

全国的には、小規模農家を対象に農業機械購入補助などの支援を行う自治体が増えている。



ギガスクール構想の第2期の課題は

ICTを活用した教育の指導力の向上などが課題



きだ はるき
木田 治喜 議員

問 令和6年度から令和10年度をギガスクール構想第2期と呼んでいる。町民の生活環境もスマホを使用したネット通信など、デジタル通信技術を活用したコミュニケーションが著しく進歩している。ギガスクール構想において教育現場での学習格差は正等を含め町の実態と課題を伺う。

①端末があっても通信速度が不十分だと支障をきたすが、小中学校の数値は。

②ギガスクール構想の第1期課題と第2期に向けた対策案は。

③児童・生徒の視力低下など健康問題に対し

改善対応策は。

教育長

①ダウンロードの実測値としては、浅小は、約9Mbps。浅中は、約70Mbps。

②第1期の課題は、整備した端末の更新、予備機の整備、児童生徒の情報活用能力の向上、校務支援システムの活用が課題。第2期は、本年11月予定の第1期で整備したタブレット端末の更新、ICT支援員の活用、ICTを活用した授業研究による教育の指導力の向上、次世代型校務支援システムによる校務DXの推進について研究したい。

③視覚の問題をスクリーニングする自動測定器が、保健センターに1台あり、学校現場への普及等について研究したい。

町事業のEBPM手法※による評価の重要性は

認識しているが導入の計画はない

問 行政において事業評価は実務上、必須になっている。その理由に事業の優先順位・行政の透明性や説明責任など国の補助や制度で費用対効果を求めるケースが増えている。効果の検証やどの事業の優先順位が高いか等にも有効なEBPM推進効果の町見解を伺う。

①EBPM推進効果の町認識は。

②町事業の優先順位決定方法は。

③夢工房・ロードレース・駅前マーケットの町抛出総額と総括的評価は。

④町事業を具体的数値

にて評価することへの町見解は。

町長

①EBPMを導入すれば、分かりやすい政策立案、政策の優先度を決めることができると思われるが、町での導入計画はない。

②各課からの要望を踏まえ、法令上の義務、住民生活への影響、防災・安全確保、地域課題への対応、事業効果、財政負担、緊急性等を総合的に判断している。

③夢工房は、平成29年から事業開始。令和7年度までに6220万円を抛出。特に移動販売事業は、買ひ物が不

自由な方への支援として、必要な事業。ロードレース大会の補助金の総額は、約3450万円。交流人口の増加に寄与。駅前マーケットは、令和6年度から7回開催。町の抛出総額は、第6回までに約400万円。浅川駅前の新たな賑わいづくりとして開催。

④データに基づく現状分析等を実施したい。

※EBPMとは、証拠に基づき政策立案で事業の実施・見直しを経験や勘でなく客観的な数値で判断すること。

新教育長の抱負と方針は

幅広い年代の町民が笑顔で学べる環境づくりを進める



かねこ ちゅういち
兼子長一議員



問 新たに就任された塩田正信教育長に伺う。
①教育長の町教育行政に対する抱負と方針は。
②学校の部活動やスポーツ少年団の大会や練習試合等の送迎状況の実態は。
③部活動遠征時の送迎における安全確保のため教育委員会としての対応は。

各施策を進めて行く。
②教育課程に計画された大会は貸し切りバスを利用してはいる。教育課程に計画されていない大会や練習試合は保護者が送迎している。
③園長、校長会議で、教育課程に計画された大会は運転手付きの貸し切りバスを利用することを指導した。また、それ以外の大会や練習試合に伴う保護者の送迎については、安全運転の意識向上を啓蒙していく。

教育長 ①抱負としては、子どもからお年寄りまで幅広い年代の町民が笑顔で学べる環境づくりを進めたい。方針は振興計画の政策目標「人と文化が輝くあさかわ」に基づき、町民ファーストを基本に

外国人住民登録数と就労支援 や課題は

11ヶ国、43人が登録、 窓口で対応している

問

浅川町においても近年外国人の居住者や企業への就労者が増えていることから支援や課題を伺う。

町長

①ミャンマー10人、フィリピン8人、インドネシア7人、ベトナム6人、タイ4人、中国2人、ネパール2人、オーストラリア、インド、韓国、アメリカ各1人、合計43人である。

③外国人労働者の支援団体はないが、福島県国際交流協会が相談窓口を開設している。町民とのトラブルは、慣れた生活環境もあり、些細なトラブルはあるようだ。

①国別の外国人住民登録者数は。
②住民登録する理由を多い順に伺う。また、住民税の課税状況は。
③外国人労働者への支援として関係団体との連携は。また、町民との間でトラブルはあるのか。

②技能実習15人、永住者14人、特定技能9人、配偶者3人、教授、教育各1人、住民税課税状況は35人、課税額182万円となっている。

④ガイドブックを作成する考えはないが、スマートフォンなどの翻訳機能を利用して説明したい。

④外国人への伴走支援として窓口で外国語による災害時の避難所等のガイドブックを作成する考えは。



イラン攻撃に起因する 物価高騰対策を国に求めよ

地方の実情に応じた財政措置等を求めていく



うえの のぶなお
上野信直議員

問 2月末、米国・イスラエルによるイラン攻撃が始まった。イランの指導者多数を突如ミサイルを打ち込んで殺害し、隣接する女子小学校の児童ら180人も殺された。ロシアのウクライナ侵略と変わらない国際法違反の行為を、米の同盟国やローマ教皇も批判している。この戦争で世界は原油不足となり、日本でも物価高騰、資材不足となって町民の暮らしを直撃している。町は町民や町内業者の状況を把握しているか。町の入札などへの影響はどうか。国には、先の物価高騰臨時交付金

を上回る規模の支援を強く求めるべきではないか。

町長 町民生活に様々な影響が出ていることは把握している。現在町への大きな影響は見られないが、今後、燃料費、電気料金、給食材料費、施設維持管理費はじめ様々な経費増加が懸念される。建設資材の高騰や資材不足で全国的に公共工事の事業費増加や工期への影響が生じ、入札不調、契約変更の事例もみられており、本町への影響も懸念される。まずは国に対し、地方の実情に応じた十分な財政措置や物価高騰対応臨時交付金の拡充・継続を求めていく。

問 地球高温暖化が進むもとで、子どもたちの命と健康を守るため、学校に、暑さ対策として給水機、冷水器、ミストを設置する自治体が増えている。そこで2点伺う。

①児童生徒の熱中症・脱水症予防のため、小・中学校の各階と体育館に、冷たい水が飲め、持参したボトルに冷水が入れられる給水機、冷水器を置き、さらに学校の適当な場所にミストを設置すべきではないか。

②猛暑対策は待ったなしなので、予算執行は専決処分を行つても、この夏に間に合うよう

学校に冷水器やミストの設置を

先行自治体を今後研究したい

にすべきではないか。

グを増やすことも検討したい。

教育長 小中学校には職員室や保健室に製氷機付きの冷水器を設置しており、酷暑時には廊下などに冷水器や製氷機の水を利用してウォータージャグを準備し、児童生徒が自由に飲んだり、持参している水筒に補給したりできるようにしており、ミストの設置等を含め新たな対策は考えていない。





おかべ そうじゅ
岡部宗寿議員

職員の運転免許証の確認は

毎年4月に全職員の有効期限を確認している

問

県内で運転免許証が失効した状態で自家用車、公用車を運転したとして懲戒処分になった職員の件でニュースになった。町の年度初めの免許証確認で分かったとの事。我が町ではどのような対策をとっているか伺う。

①我が町では誰が安全運転管理者なのか。
②安全運転管理者は職員に對しどのようなことをしているか。
③公用車の管理は各課で行っていると思うが、各課の管理台数、整備帳などあるか。どの様に確認しているか。
④町職員の運転免許証の確認をしているか。

公用車の台数は。

町長

①総務課長である。

②安全運転管理者は、交通安全に関する通知の周知、アルコールチェックの実施、セーフティチャレンジへの参加、交通事故防止月間等における注意喚起を行っている。

③各課において、車検証、自動車保険関係書類、整備記録簿等を保管し運転日誌等により管理している。車検は、時期を確認し、適切に実施している。管理台数は総務課において全体を集約し、運転日報、整備状況等を確認している。

④運転免許証確認は年度当初の4月に全職員の有効期限を確認している。公用車の台数は、消防車両を含め53台である。

広報委員会 研修報告

郡山市のビックパレットで、町民に伝わる議会だより作成のための研修に参加

7月1日、福島県町村議会議長会主催の広報研修会が郡山市のビックパレットで開催され、委員6名が出席しました。

『広報マインドと伝える議会広報づくり』という講演で、講師は、一般社団法人自治体広報広聴研究所、代表理事の金井茂樹氏でした。講師には、事前に各町村の議会だよりが渡されており、当日に評価、提案などがされました。研修の前半では、まず議員が作成する広報の目的や品質向上、企画・編集について

の基本を学びました。後半では、県内の8つの町村が講師から、議会だよりの改善や注意点などの指導を頂きました。とても内容の濃い充実した研修となりました。この研修を踏まえ、今後の議会だより作成に生かしたいと思っています。



広報研修会の後に、町の公共施設更新の参考として、隣接している、本年3月に完成したばかりの福島県郡山合同庁舎の新庁舎を視察しました。



訂正とお詫び
議会だより第143号の掲載内容に誤りがございました。訂正し、お詫び申し上げます。
訂正箇所
P15、4段目、岡部議員への町長答弁①の一部
誤 撤去に当たっては
正 設置に当たっては

動 報 告

常任委員会 所管事務調査の報告

町政に関する提言書を提出

より良い町政の実現を目指して

6月23日、両常任委員会が行ったそれぞれの所管事務調査の調査結果をまとめ、5点の事項について、議長から町に提言を行いました。

【提言事項】

総務経済常任委員会

- ①財政分析からの健全財政の運営について
 - ・町民サービス維持のため、持続可能な財政運営が重要である。
- ②最適化計画からの行財政改革について
 - ・歳出抑制の町単独事業の見直し、積極的な財政改革が重要である。

文教厚生常任委員会

- ・浅川町社会福祉協議会について
 - ①町から補助金を受けているので、利益相反の観点から会長は町長以外から選任を検討されたい。
 - ②福祉関連事業は、町民が安心して暮らすうえで重要なことから、持続可能な事業となるよう外部監査制度の実施を検討されたい。
 - ③施設の老朽化が顕著なので改善に努められたい。



議会改革検討会

—— 開かれた議会を目指して ——

5月18日、議会の状況を知ってもらい、町民に信頼される議会とするため、令和8年度第2回検討会を開きました。

- ・議会報告会の開催について
- ・議会視察研修について

*終了後、3月納車の避難所用トレーラーハウス見学を実施。

議 会 活

議会視察 研修報告

子育て支援拡充と、移住定住増加に取り組む、千葉県流山市と茨城県境町を視察してきました

7月2日と3日に研修に行ってきました。千葉県の流山市役所では、「こども・子育て施策」について、こども未来課の職員の方々から説明を受けました。流山市は東京の都心まで最短20分の場所に位置しており、人口約21万5600人、つくばエクスプレスが2005年に開業して人口が6万人増加。流山市では、子育てを支援するために、2008年4月に『流山市子育てにやさしいまちづくり条例』が施行され、市、市民、事業者、学校などが一体となって、子育てにやさしいまちづくりを進めてきました。

基本理念として、すべてのこども・若者の育ちや子育てを地域全体で支え、こどもの権利を保障するための取組を進め、こどもにやさしいまちづくりの実現を目指しています。具体的な取組みとしては、「流山市こども会議」をたちあげ、市内の小学生が参加したグループワークにおいて作製した提案を、市長や教育長に提出し、市政に反映させています。また高校生や大学生年代の若者が、まちの課題を話し合い、市役所に提案したり、自ら実行するプロジェクトなど

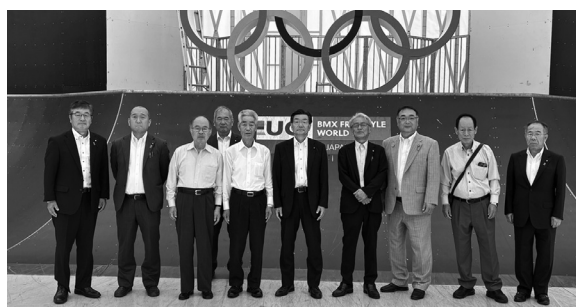
もおこなっていました。研修の最後には意見交換をしました。茨城県境町では、子育て支援に力を入れていました。特に英語教育では、すべての子どもが英語を話せる町へ、ということ、フィリピン人の英語教師を町内全ての保育園や小学校に常駐させていました。また、移住定住のための手厚い住宅支援などさまざまな取組みがありました。2日間の研修は、とても内容の濃いもので参考資料も沢山いただいたので、これから浅川町への提案などに役立てて参ります。



流山市議場



流山市研修



境町スポーツ施設



境町研修

あの提言はどうなってるの？

磐城浅川駅の自転車置場の 建て直しを



令和7年度当初予算で改修の工事請負費が計上され、古い駐輪場が撤去され、新たな駐輪場が設置されました。



令和6年
3月定例会

答

部分的に屋根が低い構造であり、使い勝手が悪いことから、今後検討したい。

問

磐城浅川駅の自転車置場が老朽化している。新しくする考えはあるか。

大草地区のテレビ電波 受信状況の改善を



令和8年度当初予算において、大草地区テレビ受信不良へのブースター購入事業費補助金40戸分60万円が計上されました。



令和7年
9月定例会

答

大草地区で7割近くが、映りがわるいことは深刻だ。何らかの処置を検討したい。

問

大草地区の7割の家庭でテレビ受信状況がわるい状態にある。町としての受信改善への考えは。

令和6年6月定例会

答

東京電力の共同アンテナ管理会社に参加を要請し、受信状況の改善を図りたい。

問

大草地区の一部は山間部にあり、共同アンテナもなくテレビ受信状況が悪い。大草地区のテレビ電波受信状況の改善を伺う。

古里写真館

Vol. 37

— お願い —

古里の写真をお持ちの方は、ぜひご連絡下さい。誌上でご紹介させていただきます。

浅川町議会事務局 36—1182



昭和53年7月 福島県中学校総合体育大会（野球の選手と応援風景）



昭和53年6月 浅中PTA視察研修

浅川弓道会会長

小宅次男さん

楽しく弓を引いてみませんか 会員募集中



浅川弓道会は、諸先輩弓道人をはじめ町議会等関係者の皆様のご尽力により、浅川町武道館の開館と同時に、平成11年4月に発足しました。浅川町武道館は、県内に2か所しかない室内弓道場で、県弓連主催の講習会等に活用されており、天候に左右されず、年間を通して利用できることに他の弓道会より賛辞の声が聞かれています。室内弓道場のありがたさに感謝し、年齢性別に関係なく和気あいあい楽しく弓を引

ています。

弓道会の活動としては、月例会、会員に大好評の節分鬼面射会、弓道体験教室の開催、県弓連主催の各種大会への参加を行っています。ねんりんピック大会には浅川弓道会より県代表として、現在まで5名が全国大会に出

場しています。

このすばらしい弓道場、そして弓道会を町民の皆様にもっと知っていただきたく、今回寄稿させていただきました。味として、私たちと一緒に楽しく弓を引いてみませんか。弓道場でお待ちしています。



議会傍聴においでください

次の定例会は9月8日(火)～15日(火)までです
「一般質問」は9月9日(水)9時～の予定です

議会は一般に公開され、どなたでも傍聴できます
問い合わせは議会事務局まで TEL 36-1182



編集後記

暑中お見舞い申し上げます。

先日議会広報研修と議会行政視察、千葉県流山市、茨城県境町の視察に参加しました。流山市は、こども会議などでの提案を市政に反映する取り組みなどをしていました。境町では、事業の見直しによる改善を図り、財政再建に取り組む、あらゆる施設の充実を図り町民サービスや子育て支援など住みやすいまちづくりを進めていました。この度の視察研修を無駄にしないよう、今後も議会活動や広報活動に取り組んで参ります。

須藤孝夫

◆広報特別委員会◆
委員長 会田哲男
副委員長 富永勉
委員 上野信直
委員 兼子長一
委員 菅野朝興
委員 須藤孝夫